

# とうほく自動車関連産業振興ビジョン ～とうほく自動車関連産業のさらなる高みへ～ 骨子

※ビジョン期間：2018～2021 年度

## 東北の現状

### 【国内外の状況】

- 「電動化」「自動化」等の技術を取り入れた次世代自動車開発や自動車メーカー以外の異業種を巻き込んだ戦略展開が急速に進み、「100年に1度の大変革期」を迎えている。

### 【東北の状況】

- トヨタ国内第3の生産拠点としての位置づけのもと、大手部品メーカーの集積や地場企業の参入が加速し、完成車の一貫生産体制としての基盤が充実しつつある。

**輸送用機器出荷額は震災以降で5千億円増！  
東北はコンパクト車の生産拠点として成長！**

### 【産業集積の状況】

|    |                                                                                                                                                                     |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現状 | ○産業集積の進展により、サプライチェーンの構築が大きく進んでいる。<br><b>輸送用機器出荷額：1.8兆円(2015年度)←1.3兆円(2011年度)</b><br><b>自動車関連企業数：942社(2017年度)←1,125社(2011年度)</b><br><small>(※自動車関連企業数は6県の数値)</small> |
| 課題 | ○地場企業のQCD能力・提案力のさらなる向上<br>○グローバル展開を見据えた技術・生産体制の強化<br>○設計・開発等を行うことができる企業の集積                                                                                          |

### 【研究開発の状況】

|    |                                                   |
|----|---------------------------------------------------|
| 現状 | ○企業が求める、実用化に繋がる研究が少ない<br>○次世代自動車の企画・開発等を意識した動きが鈍い |
| 課題 | ○実用化段階を目指す研究の掘り起こし<br>○企業・大学・公設試連携のさらなる推進         |

### 【人材育成・確保の状況】

|    |                                                            |
|----|------------------------------------------------------------|
| 現状 | ○首都圏等、域外への人材の流出が生じている。                                     |
| 課題 | ○現在～未来の自動車関連産業を支える人材の確保<br>○三次元設計開発技術者などさらなる高度技術ものづくり人材の育成 |

## 方向性

### 【目指す姿】

**＜MADE BY TOHOKU を日本へ、世界へ＞**

「とうほく」は、コンパクトカーをはじめとする環境対応自動車など、**世界に発信できる自動車の生産・開発拠点**の形成を目指し、**日本のものづくりの一翼を担います。**

**強固な広域連携で企業集積をさらに強化！  
グローバル展開や次世代技術開発等を見据えた  
広域クラスター形成に取り組む！  
⇒とうほくの自動車関連産業のさらなる高みへ！**

### 【生産拠点形成に向けて】

- 進出企業と地場企業の協力の下、部品生産から完成車の組立までを域内で完結し、世界に通用する、競争力のあるクルマづくりを行う地域

### 【研究開発拠点形成に向けて】

- EVやFCVなどの環境対応車や自動運転車等の次世代を担う自動車の技術開発や構成部品開発及び生産技術開発について、広域連携の下で世界に通じる研究開発を行う地域

### 【産業を支える人材の育成・確保に向けて】

- 東北の自動車産業やものづくりを支える優秀な人材を継続的に企業へ輩出する地域

## 目標と戦略

### 【目標】(目標年次 2021 年度)

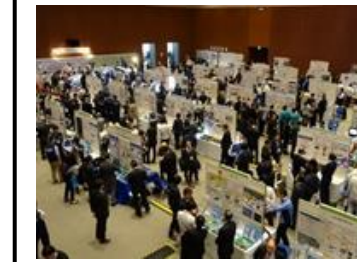
- 輸送用機器の**出荷額 2.2 兆円**を目指す  
(現状 1.8 兆円 (7 県))

**輸送用機器出荷額を次の4年で4千億円増！  
生産技術力と開発提案力を高め、競争力を強化！**

### 戦略Ⅰ

#### 幅広い分野の企業集積

- 関連企業の進出促進
- 地場企業の参入促進
- 企業間交流・連携の促進



### 戦略Ⅱ

#### 競争力のある生産拠点

- 設計開発機能の強化
- 生産技術力・準備力強化
- 生産体制の強化
- 提案力の強化



### 戦略Ⅲ 次世代技術の開発拠点

- 次世代自動車の生産を支える技術の開発
- 研究開発の実用化
- 県境を越えた公設試による連携の強化



### 戦略Ⅳ 人材の育成・供給拠点

- 企業ニーズに応じた人材の育成・確保・定着
- 東北全体での安定した人材確保
- 就学段階からの高度ものづくり人材育成

